

No. C01	Aグループ	年月日	令和5年11月5日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

子供のためにもっと稼がないと思ひ、正社員を目指した方がいいと思うが、正社員の方は残業も異動もあり大変そう。子供のサポートもあるので今のペースが丁度いいが、お金も必要でどうしたらいいかわからない。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

子供の教育費のために正社員を目指した方がいいと思うが不安がある相談者を受容しつつ、正社員になることについてどのような不安があるのかを明確にし、相談者が抱える問題点を把握する意図。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 家庭と仕事の両立について何を優先したいかという価値観の自己理解不足、正社員の働き方についての仕事理解不足、および、正社員登用制度についての情報収集不足が考えられる。

② その根拠 「お金も必要だけれど、もっと子供のサポートもしなければいけない」という発言から自己理解不足、「正社員の人を見ているとすごく大変そう。」という発言から仕事理解不足、および、「合格するのも大変らしい」、「ダメだったら、もう他の職場を探さなければ」という発言から情報収集不足。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

家庭のために15年ぶりに働くことを決め、2年間働いてこられた相談者を労いながら、引き続き信頼関係の構築に努める。相談者が家庭と仕事を両立するうえで大切にしたいことを傾聴することで内省を促し、やらなければならないことの優先順位付けをしていただけるように関わる。今の職場で正社員として働いている人に話を聞くよう促し、正社員の働き方について仕事理解を深めていただく。また、上司や人事部などを通じて、正社員登用制度の情報収集を促す。これらにより、相談者がワーク・ライフ・バランスの取れた主体的な意思決定ができるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C01	Bグループ	年月日	令和5年11月5日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

夫が勤めていた会社の倒産をきっかけに、収入が減ってしまい今後教育費等お金がかかることが不安。相談者はパートタイム職員として働き職場環境に不満もないが、給与面と正社員も考えているが難しい。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

働きやすい職場環境で働きたいと思っているが、正社員を目指すも難しく不安な気持ちを受け止めている。そのうえで、どのようなことが不安であるか、お話を伺うための意図があると考え。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 次の2点を問題と考える。（1）正社員に対して具体的なイメージがなく思い込みによる仕事理解の不足。（2）相談者の気持ちや教育費等に関する夫とのコミュニケーション不足。

② その根拠 次の発言を根拠と考える。（1）「正社員の人を見ているとすごく大変そう」「そもそも登用試験に合格するのも大変らしい」という思い込みがある。（2）「本当は家事や育児に専念したかった」「もっと子供のサポートをしなければいけない」という一人で抱え込んでいる点。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まず、家庭の事情と相談者の不安な気持ちに寄り添い丁寧に傾聴をすることで信頼関係の構築に努める。それによって、設問3であげた（1）の解消として、上司や人事担当者に正社員登用制度についてヒアリングし詳しく調べること及び登用試験の合格者に話を聞く機会を設けるように提案する。（2）の解消は、相談者の不安な気持ちに対して質問することで内省を促し、明確化する。そのうえで、ご主人としっかりコミュニケーションを取るよう提案する。以上のことから、相談者の不安を解消し、仕事と家庭を両立し、ワーク・ライフ・バランスの取れた働き方の主体的な意思決定ができるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C01	Cグループ	年月日	令和5年11月5日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

夫の再就職を機にパートタイムで働いているが、教育費がかかると考え正社員を目指すことも考えている。正社員で働くことに不安もあり、また中学受験や大学進学をサポートもあり、どうすればよいかわからない。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

相談者が正社員を目指した方がいいと思うに至った背景や状況把握をするため。また、不安という感情に焦点を当てることで相談者の内省を促し、改めてどう考えるかを聞く意図で応答したと考える。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 主な問題は次の3点である。(1)全てを一人でやろうとしている点でのコミュニケーション不足。(2)大切にしたい価値観が決まっておらず自己理解不足。(3)正社員という働き方についての情報収集不足。
- ② その根拠 (1)「お金も必要だけれど、もっと子供のサポートもしなければいけない」、「やらなければいけないことが多すぎ」の発言から。(2)「もっと稼がねえと…」と言いながら、正社員の仕事に対し「残業もしなければいけない」、「もっとおんおんバリバリ働くタイプではない」の発言から。(3)「早く大変そう」、「合格するのも大変らしい」の発言から。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、育児と仕事の両立について考えている相談者の気持ちを引き続き傾聴し、信頼関係の構築に努める。その上で、設問3で挙げた問題の解消に取組む。(1)相談者の方が信頼できる周りの方にお話を聴き、サポートを確認し、協力が得られるような体制づくりを促す。(2)マイジョブ・カードのサイトを利用して価値観やキャリアプランの整理を行っていただくよう提案する。(3)正社員として働いている社員の方や、登用試験を受験した方に差しつかえなければ話を伺っていただき情報収集を促す。以上の3点から、育児と仕事について相談者の考える最良の選択肢から選べるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

No. C01	Dグループ	年月日	令和5年11月5日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」(略A)の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。面談記録を手掛かりに記述せよ。

夫の会社の倒産を機に15年のブランクを経て仕事を始めたが、仕事は楽しいが子供の教育費からも給与が上がる正社員と考えるが、残業も異動もあり大変と感じ、子供のサポートもありとろ過ぎか悩む相談。

【設問2】 事例記録の下線Bについて、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。

相談者の正社員を目指しているが不安な気持ちを受け取り返すことで信頼関係を構築し内省を促す意図として正社員を目指している不安な気持ちの背景をたずね、相談者の理解を深めるため。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 主な問題は①点である(2)仕事をする上でどのように働いていきたいか、価値観の自理解不足。
 (2)正社員の仕事に対する仕事理解不足。(3)家族におけるコミュニケーション不足。
- ② その根拠 根拠は、(1)今の職場は家族の両立はしやすいが給与が上がりないと安易に辞めて考えられていることや子供の受験のサポートもなければと思うが何かの決断が考えられている点(2)正社員の人を見ていると大変で異動もあり登用試験も大変と表面的な情報を知らずにいること。(3)子供のサポートをいまだに考えている点。

【設問4】 問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

夫の会社の倒産を機に15年のブランクを経て仕事を始めた相談者を労いながら、今後の働き方について前向きな気持ちに寄り添い傾聴し、サポート形成に努める。同意が得られたら(1)家族の仕事の両立するために今後主には何かを認識し内省を促し、その上でどのように働いていきたいのか考えを整理することによって自理解を深める。(2)上司と面談の機会を設ける提案をし、正社員の業務内容や登用試験等について情報を入れ、正しい情報のもと正社員の仕事理解を促す。(3)御主人と相談することを提案し、子供のサポートに関する話し合いのコミュニケーション不足を解消する。最終的には相談者がワークライフバランスをとり、最良の意思決定ができるよう支える。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

No. C01	Eグループ	年月日	令和5年11月5日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

2年前に夫の会社が倒産し、金銭面の関係で、パートで勤務しているブランクも長く不安だったので、仕事は楽しいと感じるのを手探りで探したいが、子供の教育費を考えると正社員を目指したいと思いついて、どうしたらいいかわからない。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

正社員を目指したいが不安という相談者の発言を受容し伝え返し信頼関係を築いている。また正社員について問いこきで内省を促し、背景にある思い、価値観を語り、復次相談者を深く理解するため。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 主として問題の3点と考える。(1)仕事・子育てで大変になる価値観に迷いが生じ自己理解不足。(2)正社員・登用試験に関する仕事理解不足。(3)仕事・家庭・金銭面の長期的ライフプランの未知。
- ② その根拠 上記の(1)「実際にできるか不安」「やらなければいけない」という発言で、「どうしたらいいか」の発言より大抵に「不安」が不明確な点。(2)「正社員の人はずっと大変そう」「登用試験に合格するも大変らしい」の発言より思いが強い。(3)「もともと稼がず」「お金も必要だけれど、子供のサポートもなければ」の発言より大抵的視点にたっている。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

家事や育児に専念してはいたが、家族のために働きはじめの仕事と家庭を両立している相談者を労い、不安に感じている気持ちに寄り添い、価値観を重視するサポート形成を始める。同意を得ながら次のように進める。(1)専業主婦・仕事・子育てを振り返り、丁寧に質問することで内省を促し、大抵にある思い、価値観を客観視し自己理解を深めて頂く。(2)上司・人事部と話す機会を提案し、正社員・登用試験について明確化する。また必要であれば、他業種・職種・雇用形態などジョブサイトでの情報収集方法を伝える。(3)ライフプランの記入を提案し、仕事・子育て・金銭面を可視化し、長期的視点で捉えて頂く。以上により相談者の不安を解消し、主体的に意思決定するのを支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

No. C01	Fグループ	年月日	令和6年2月4日(日)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在は15年ぶりにパートタイム職員として働き仕事も楽しく家庭との両立がしやすく、このまま働き続けてもいいと思うが、

子供の教育費がかかることを考えると正社員を目指した方がいいと思うが不安で、どうしたらいいかわからないということ。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

伝え返しにより、正社員というキャリアビジョンを確認するとともに、不安という気持ちに寄り添いながらも内省を促している。また、相談者が今後どうしていきたいのか気持ちの面での理解を深める意図があると考え。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 (1)正社員としての働き方についての思い込みがあり、自己理解不足。(2)仕事のあり方や役割についての仕事理解不足。(3)今の働き方が合っていると感じるが教育費や子供のサポートを一人で抱え込んでいるコミュニケーション不足。

② その根拠 (1)「正社員を目指した方がいい～実際にできるか不安」「正社員の人を見ているとすごく大変そう」「登用試験に合格するのも大変らしい」。(2)「時間の融通が～家庭との両立がしやすい」「本当は今ぐらいのペースが自分には丁度いいと思う」。(3)事例記録を読む限りでは、夫とのコミュニケーションがとれていないと思われる。以上を問題の根拠とする。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

子育てしながらも夫の倒産をきっかけに15年ぶりに働き、両立していることを労いつつ、不安という気持ちに共感しながら、引き続きラポール形成に努める。(1)今の相談者に置かれている状況に一人で抱え込んでいる様子が窺えるため、優先順位を整理し、抱え込みについての内省を促すことと自己理解を深めていくよう促す。また、マイジョブ・カードのキャリアプランシートを活用し、自己の振り返りをするよう提案する。(2)正社員についての思い込みが見受けられるため、登用制度や労働の条件、労働環境について確認をし、相談者が実際に働けるのか自己理解を深めていく。(3)夫と話しているか聞き、話していないのであれば今後の収入や正社員について話すことを提案する。以上により、CLが自己実現できるように支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C02	Fグループ	年月日	令和6年2月4日(日)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在は15年ぶりにパートタイム職員として働き仕事も楽しく家庭との両立がしやすいこのまま働き続けてもいいと思うが子供の教育費がかかることを考えると正社員を目指した方がいいと思うが不安で、どうしていいかわからないということ。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

伝え返しにより、正社員というキャリアビジョンの確認をすると共に不安という気持ちに寄り添いながらも内省を促し、相談者が今後どうしていくのかと気持ちの面での理解を深める意図があると考え。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題2点の問題点があると考え。(1)正社員としての働き方についての思い込みがあり、仕事のあり方や役割についての仕事理解不足。(2)今の働き方が合っていると感じるが教育費や子供のサポートと入って抱え込みがある自己理解不足。
- ② その根拠(1)「正社員を目指したが～実際にできるか不安」「正社員の人を見ているとすごく大変そう。」「登用試験等に合格するも大変らしい」という発言から。(2)「時間の融通が～家庭との両立がしやすい」「本当は今くらいペースが自分には丁度いいと思う」「お金も必要～サポートはいいけれど」「やらなければ～どうしたらいいか」という発言から。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

子供を育てながらも夫の倒産をきっかけに15年ぶりに働き、両立していることを労いつつ不安という気持ちに寄り添いつつ引き続きサポート形成を深める。その上で正社員についての思い込みが見受けられるため、登用制度や労働条件、労働環境について確認をし、相談者が実際に働けるのか仕事理解を深めていく。(2)今の相談者に置かれている状況に一人で抱え込んでいる様子が伺えるため、優先順位を整理し抱え込みについての内省を促すことで自己理解を深めていくよう促す。またマイジョーカーのキャリアプランを話し自分の振り返りをするよう提案をする。以上により相談者が主体的に今後のキャリアプランを意思決定しワークライフバランスが保ちながら自己実現できるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C01	Gグループ	年月日	令和6年2月15日(木)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在の仕事は、環境も時間も自分には丁度いいと思っている。しかし今後子供の学費も時間もかかり
正社員を目指した方がいいとも思ってるが、やることが多くどうしたらよわからず相談に来た。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

正社員を目指した方がいいが、実際にできるか不安という発言に対して伝え返ししていくことで、信頼関係を構築すると同時に何が不安であるかを言語化していくことにより、内省を促す意図がある。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 （1）現在の職場にいる正社員のことや正社員登用制度に対する情報収集ができておらず
仕事理解不足がみられる点。（2）優先順位や中長期的な展望が不明確で自己理解不足がみられる点。

② その根拠 （1）すごく大変そう、残業もしなければいけないし、異動もある。そもそも登用試験
に合格するのも大変らしいという発言から。（2）お金も必要だけれど、子供のサポートもしなければ
いけない。やらなければいけないことが多すぎて、どうしたらいいかわからないという発言から。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、夫や子供のために再就職して15年ぶりに働くことを決意し働いてきたことを労い、不安に対して寄り添い傾聴していくことでラポール形成を図っていく。そのうえで、（1）現在の職場にいる正社員の方についてや、登用制度についてどう思われているか具体的に話していただき、誤った認識や知らない事があれば一緒に確認し、理解を深めてもらう。さらに、（2）仕事や子育てに関する思いを傾聴し内省を促すことで自己理解深め、優先順位を明確化する。そして、正社員として働くのかを含め、中長期的な展望を明確にし、やることの優先順位をご自身で意思決定できるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙